



やらまいか

クラブテーマ：Step Up 豊川宝飯～みんな仲良く～

会長／小田伊佐浩 幹事／石黒貴也 会報委員会／杉浦和人 原田浩史 館山紘介

例会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 TEL0533-86-4101

事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 Email:hoirc@sala.or.jp

本年度第31回 通算1789回 2025年4月22日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/8 修正出席率
		71名	40名	63.5%	75.8%

ゲスト：米山奨学生 エルデネトラガ・テムーレン君 ビジター：メイクアップ受付3名

★会長あいさつ

小田伊佐浩会長



サイン バイノー。
モンゴル語でこんにちはです。

皆さん、こんにちは。
今日は良い天気です。過ごしやすい気温になりました。

国際ロータリーは、3年ごとに規定審議会が行われます。今年はその開催年で4月の13日から17日にシカゴで行われました。80を超える多く立法案の審議が行われました。皆さんに関係のある立法案は、人頭分担金の値上げが認められました。1年目は現在より3ドル50セント、2年目と3年目以降3ドル75セント値上げということでございます。また2027年に予定されておりましたハワイホノルルでの世界会議が、ホノルルコンベンションホールの改修工事が延期されることになり、中止になったということでございます。開催地は新たに探してる状況だと言うことでございます。

日曜日に行われた地区研修協議会に出席された皆様お疲れ様でございました。本日は次年度のための勉強会である地区研修協議会の報告例会です。毎年この時期になると今年度の終わりが近づき、次年度が始まるムードとなるわけですが、まだ5月20日に今年度の最後の行事として春の行楽を予定しております。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマで開催されている大阪関西万博に訪れたいと思

います。多くの方々の参加申し込みがあったと聞いております。参加される皆さんと親睦委員会の方に感謝申し上げます。

そして先週、大沢パスト会長の三遠ネオフェニックスのお話がありました。なんとその後3連敗します。大沢パスト会長に伺ったら大丈夫だとのこと。明日には中地区優勝が決まって、勝率もトップと並ぶということそうです。みんなで応援していきたいと思います。

それでは米山奨学生のテソ君に今月の奨学金を渡したいと思います。



★幹事報告

石黒貴也幹事

地区研修協議会のお礼状の回覧
豊川市から新市長の案内
豊川高校から新校長の案内

★地区研修協議会の報告

次年度会長あいさつ



て参りました。

国際ロータリーのRI会長は、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長でブラジルの方です。変革をしてきています。大きく変わってきているのがスローガンがなくなりました。年度ロゴマークもなくなりました。メッセージとして「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」だけがあります。中心となって言ってるのは、会員増強です。会員が世界的にも日本的にも地区的にも激減してきています。やはり組織ですから、会員構成が減るとほんとに組織活動もままならないと言うことで非常に危機感をもって会員増強を出しています。

それを受けて鈴木ガバナーは、「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！ ～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって 絆を深め 奉仕の歯車を力強く廻そう～」と分かりやすい発信をされています。新しいこととして、ロータリーフードフェスタをなくして、ポリオのチャリティコンペをやるそうです。シンプルにしながら新しい時代に向けてロータリーの仲間を増やすと言うことを訴えていたような感じであります。

特に衛星クラブとか言う形で、もう少し若い人や女性を増やしていこうと言うようなこともかなり伝えられておりまして、ロータリー自身が非常に変わっていこうとしてるところを感じました。

基調講演は、尾身茂さんでした。講演の内容は、ポリオ撲滅を進める中でロータリーの役割が非常に大きい。ロータリーの皆さんをきっかけに多くの寄付が集まり、あと1歩のところまで来ているという内容でした。改めてポリオ撲滅のロータリーの意義を感じました。尾身さんというと新型コロナになりますが、今回はポリオのお話でした。

地区研修協議会を終えて、豊橋に戻って、その日の反省と慰労の懇親会を行いました。国際ロータリー、地区の動きの中で、シンプルながらともに学んで、ともに貢献していこうということ、そしてポリ

笠原盛泰次年度会長

こんにちは。地区研修協議会の報告をさせていただきますと思います。日曜日に次年度の役員委員長20名ぐらいで出席をして熱心に勉強をし

オと言う重要な事業を進めようと感じました。少しずつ楽しく変えながら新しい年度に取り組みます。皆さんのご協力を宜しくお願いします。

最後に、地区大会の案内がありました。豊川クラブの岩瀬実行委員長からPRの挨拶がありました。PRビデオも良かったです。親クラブですので応援をしたいと思います。

第1分科会



館山紘介次年度SAA

第1分科会の報告をさせていただきます。第1分科会は複数で構成されていました。本日は時間の関係もございいますので、3点に絞って報告をします。

まず1点目はクラブの行動計画についてです。今までロータリークラブは、目標や検証活動不在の奉仕活動が行われることが多く、これを計画的に変えていかなければならないと言う、近年始まった取り組みとなります。策定にあたりましては、4つの優先事項、より大きなインパクトをもたらす参加者の基盤を広げる、参加者の積極的な参加を促す、適応力を高める、を踏まえて設定する必要があります。これは、3年間のクラブ戦略計画ともリンクをしております。入念な計画策定、そして推進役となるクラブチャンピオンを定めて、いわゆるPDCを回していくということが重要であると言うお話でした。

2点目は危機管理についてです。危機管理については、3月の河本会員の地区青少年交換委員会の卓話の中でも触れられておりましたけれども、RIは、虐待やハラスメントに対して非常に厳しい姿勢を持っております。こういった話をするとうハラスメントというところがクローズアップされがちですけれども、いじめであるとか、噂話やゴシップも、これに含まれるということですので注意が必要です。また実際に相談を受けた場合の対処と言うことも学ぶことができました。近年ハラスメント容認にしない、発生させないということは世間的に当たり前のようになってきてはおりますが、そういった相談の場合にどう対処していくかなどについては改めてですね全員で学ぶ必要があるのではないかなと言うふうに感じました。

3点目は会員増強についてです。1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強と言われる通り、会員増強は最優先かつ最大の課題とされております。先ほ

ど行動計画の観点で参加者の基盤を広げるとお伝えをしましたが、代表的なものとしては、若手会員と女性会員の増強。新たな形態のクラブ創設があげられます。後者の例としまして、先ほど会長エレクトのお話の中にもありました、衛星クラブと言うものがございます。衛星クラブの特徴としては、平均年齢が若くて女性会員比率が高いということもあり、今いっそう注目をされている存在ではありますが、この 2760 地区ではまだ 1 つもないということでもございます。一方で世界中では当たり前のように創設をされているということもございますので、5月23日に衛星クラブに関しての説明会が開かれる予定ということになっております。また別の観点でもあります参加者の積極的な参加を促すというところでは、DE I+B、Bは帰属意識です。これを浸透させることで退会防止につなげると言う話もございました。帰属意識を高めるためには、クラブでの体験が求められ、特に例会での楽しみもその一つに挙げられておりましたので、次年度のSAAとして多くの方に例会に参加してもらいたい。そして参加したくなるような例会開催というのを目指して行きたいと考えております。

最後に全体的な感想になりますが、今回初めて参加させていただきまして非常に多くの学びがあったと思うと同時に、やはりロータリークラブ自体が変革期を迎えているのかなあと言う感性も持ちました。先程の衛星クラブもそうですし、その他の取り組みを聞いても色々変わらないと会員が維持できないと言うような危機感と言うのもございました。昨年の地区大会で「不易流行」と言う言葉がございました。やはり変えてはいけないもの、そして変えていくもの、うまくバランスを取りながら今後も取り組んでいく必要があると思っておりますので、これを機に次年度しっかりと取り組んで参りたいと思います。以上報告となります。ありがとうございました。

第4分科会

伊藤靖次年度社会奉仕委員長



「するために」で行われました。

内容は、今までの奉仕活動は単年度の事業が多い

ということです。例えば20年30年前に「町のスピード違反をなくそう」とか「安全第一」の看板を作ったが、年数がたった劣化してしまっていて地域の邪魔になっていることがあります。それを撤去して新たに作るのか、それを活かして作るのか、10年先20年先を考えた奉仕活動もあるとのお話がありました。

地区には、各クラブが行っている社会奉仕事業がデータ化されているそうです。それを参考にしてほしいとの話もありました。

事業例としてごみ拾いの話がありました。単にごみ拾いをするのでは、ゲームを交えたり、地域に根付けるような事業を行うと良いとのお話です。

そして循環型の事業を行ってほしい。ロータリーも変革の時にきているので、次につながるようなサイクルを考えて、今回がその初年度として色々なことを試しながら10年後20年後のロータリーに残るような活動をいくことが良い。ロータリーは単年度で、それが良くも悪くもあります。持続可能な活動の仕組みをつくって、数年かけて、地域の声を聴いて活動してほしいとのお話がありました。

第5分科会

竹生和史次年度職業奉仕委員長



次年度職業奉仕を担当させていただきます。職業奉仕委員長させていただくのは今回で2回目になります。ロータリーの職業奉仕の考え方は他

の広域的な団体とは全く異なっていて、ほんとに特殊な考え方です。例えばよく聞く話ですけども、ノブレス・オブリージュって言うなことをよく言われてるんですけども。これは高貴な人は責任を負うみたいな意味だと思います。一方で職業に規制なしって言うこともありまして、すごく矛盾すると常に思っています。ただロータリーの職業奉仕の考え方というのは、職業に規制なし、次年度のメッセージのように良いことのために団結しようということだと思います。これを職業奉仕的に意識すると、良い仕事しようということ、つまり良い仕事をして利益を出して寄付することです。単純にどんな仕事でもいいから自分たちの生業としていることで、それが社会に貢献するんだよというのがロータリーの職業奉仕の基本的な考え方じゃないかなと言自分としては理解しております。

今回地区研修協議会に出させて頂きました。1番

のテーマは、皆さんの仕事について4つのテスト当てはめてみましょう。それでその皆さんの行っている仕事そのものが4つのテストに叶うかどうかと言うのもみんなでチェックする。そういう活動をぜひともやってほしいと言われました。二宮尊徳のことが例として出されていました。仕事に対してしっかり道徳とか持って仕事してれば、それが結局はいいんだよと言うようなことだと思うんですけども、それを単純にやるのはテストを当てはめて考える。そんな例会をやってくださいというお話でした。今までやっていた職場訪問も重要だけれども、先ほどのような例会をやってほしいというのが今回の研修会の名義でした。

次年度にどんな例会やるのかと言うと、ロータリーならではで、会長を始めとする皆様の人脈を通じて4回例会を担当させて頂きます。普通ではお呼びできないようにスペシャルな講師の方をお迎えすることができそうな準備が整っております。来年の職業奉仕委員会の例会に出席していただくだけで年会費の元が取れるような内容になっています。来年の例会に参加して、それが会員増強と会員強化につながるようになればと思います。7月の第2回目の例会が職業奉仕の担当例会になっています。特別な講師の方が来ます。ここでしか聞けないようなお話になると思います。ぜひともご参加いただきたいなと思っておりますので皆さんよろしく願います。

第6分科会

乙部享祐次年度R財団委員長



次年度財団委員長を予定しております。第6分科会に出席して参りました。

第6分科会はロータリー財団の内容になります。私は今年2月に財団の研修に参加しました。内容は、その時とほぼ同じでした。9月か10月にももう一回同じ研修を受けて11月の担当例会で皆さんに説明をします。

内容は、財団の仕組み、寄付の内容などでした。

財団への寄付は、地区の目標が一人当たり150ドルです。本年度の当クラブは110ドルで目標に達していません。これは、寄付を少なくしているのではなく、寄付をする人、しない人がいて、平均が110ドルになります。来年度は、このあたりをどうするのか皆さんで考えて話し合っていきたいと思います。

また、財団補助金事業は9月16日に予定をして

いますので、皆さんの参加をお願いしたいと思っています。宜しくお願いします。

第7分科会

竹本裕一次年度青少年奉仕委員長



第7分科会へ出席してきました。第7分科会は青少年奉仕関係の分科会でした。

ロータリーには青少年に関して5つのプログラムがあります。イ

ンターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、学友です。豊川宝飯RCは、どれも行っておりませんのでしっかりと説明を聞いて参りました。

2760地区のロータリーのメンバー数と東京地区のロータリーのメンバー数がほぼ同じだそうです。それに対してローターアクトのメンバーが東京地区は600名弱、それに対して2760地区は300名弱しかいないということで、1にも2にも3にも4にも5にも増強と言うことを言っていました。以上報告です。ありがとうございました。

第8分科会

大木悦子次年度米山奨学委員長



皆さんこんにちは。先ほども会長が言われましたけども「サインバイノー」はモンゴル語でこんにちはと言う意味だそうです。これからテソ君と話をす

るときはまず「サインバイノー」と言ってからお話をし

て頂けるといいんじゃないかなと思っております。第8分科会に出席をしました。米山奨学生の紹介のビデオを見ました。その中で出てきた言葉が「米山奨学生と遊んでください」と言うことでした。私はそれを見て、私は遊びすぎてるかもと感じました。もう少し心していかなければと思いました。あと1年、私を通してロータリーとか日本のイメージが悪くならないようにこの1年を過ごしていきたいなと思っています。以上です。

★ニコニコボックス

鳥居信行さん 地価評価表を配布させて頂きます

竹生和史会員 例会で発表します

柴田陽一会員 結婚記念日を祝って頂き

★4月20日地区研修協議会



★4月20日地区研修協議会



会報担当：杉浦和人・原田浩史・舘山紘介